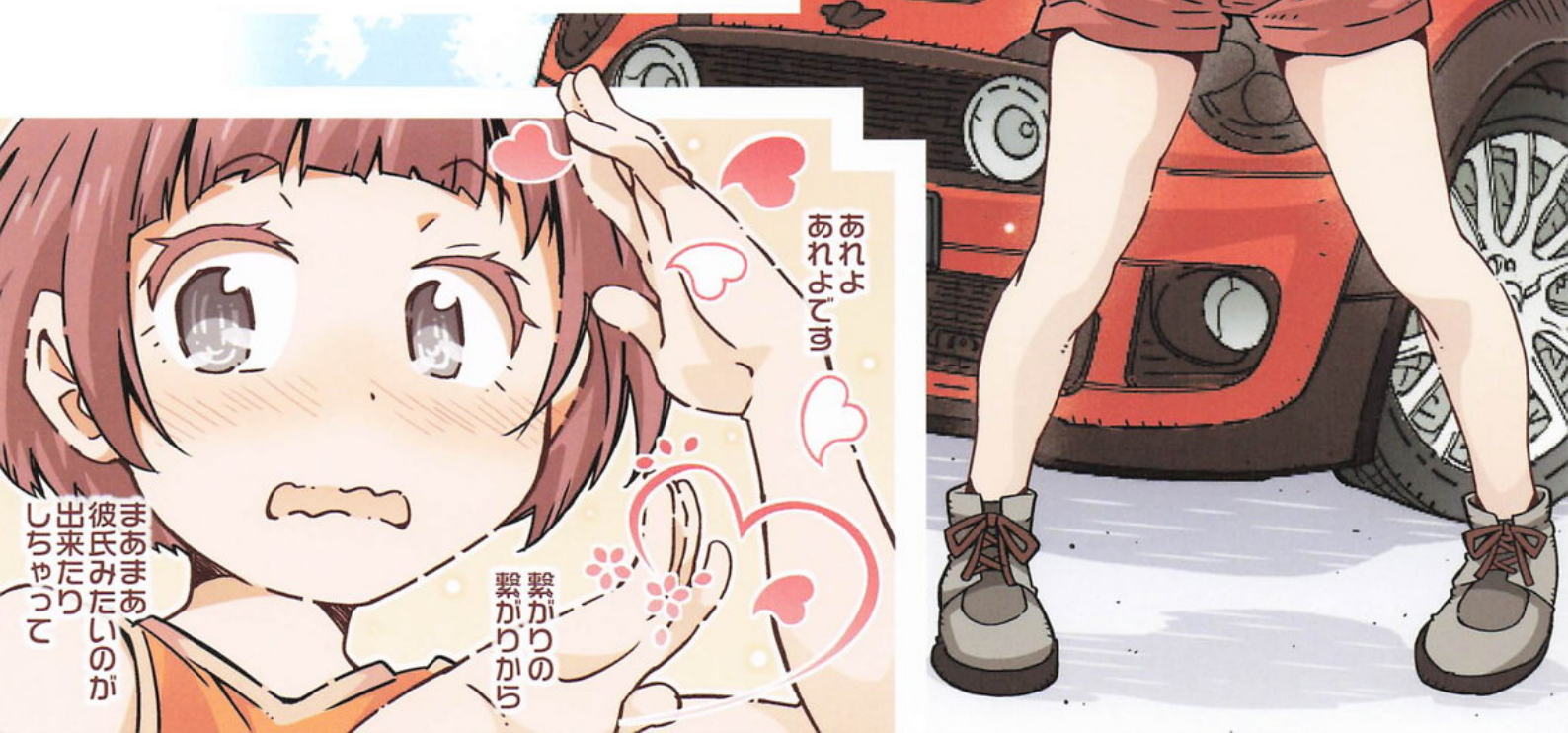








馴れない

まだ
馴れないっ

はっ



で、でもさ
めちやくちや
やさしくない？

ぜんぜん
体重かけて
こない



はっ

ふひっ

ひい

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

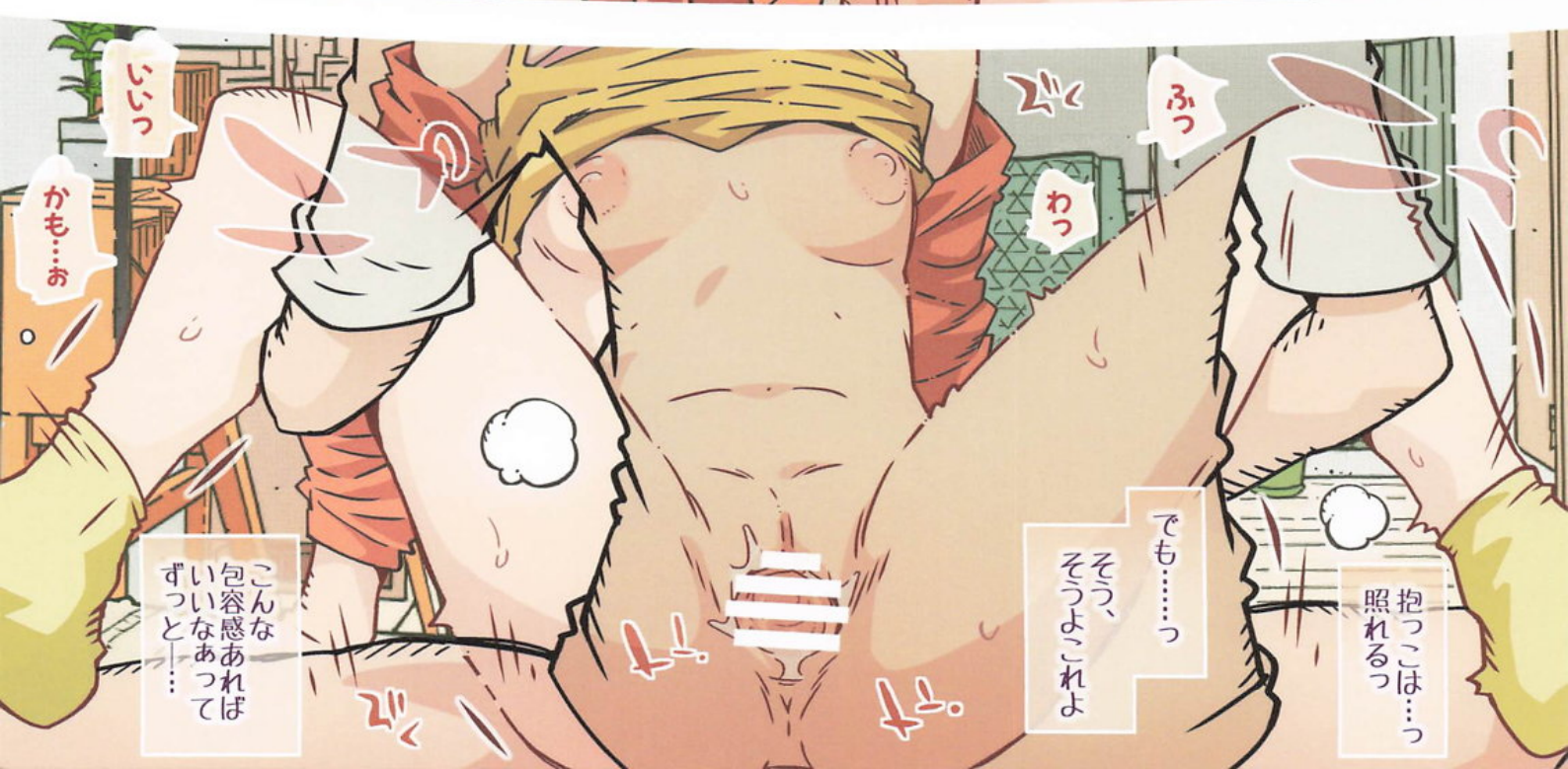
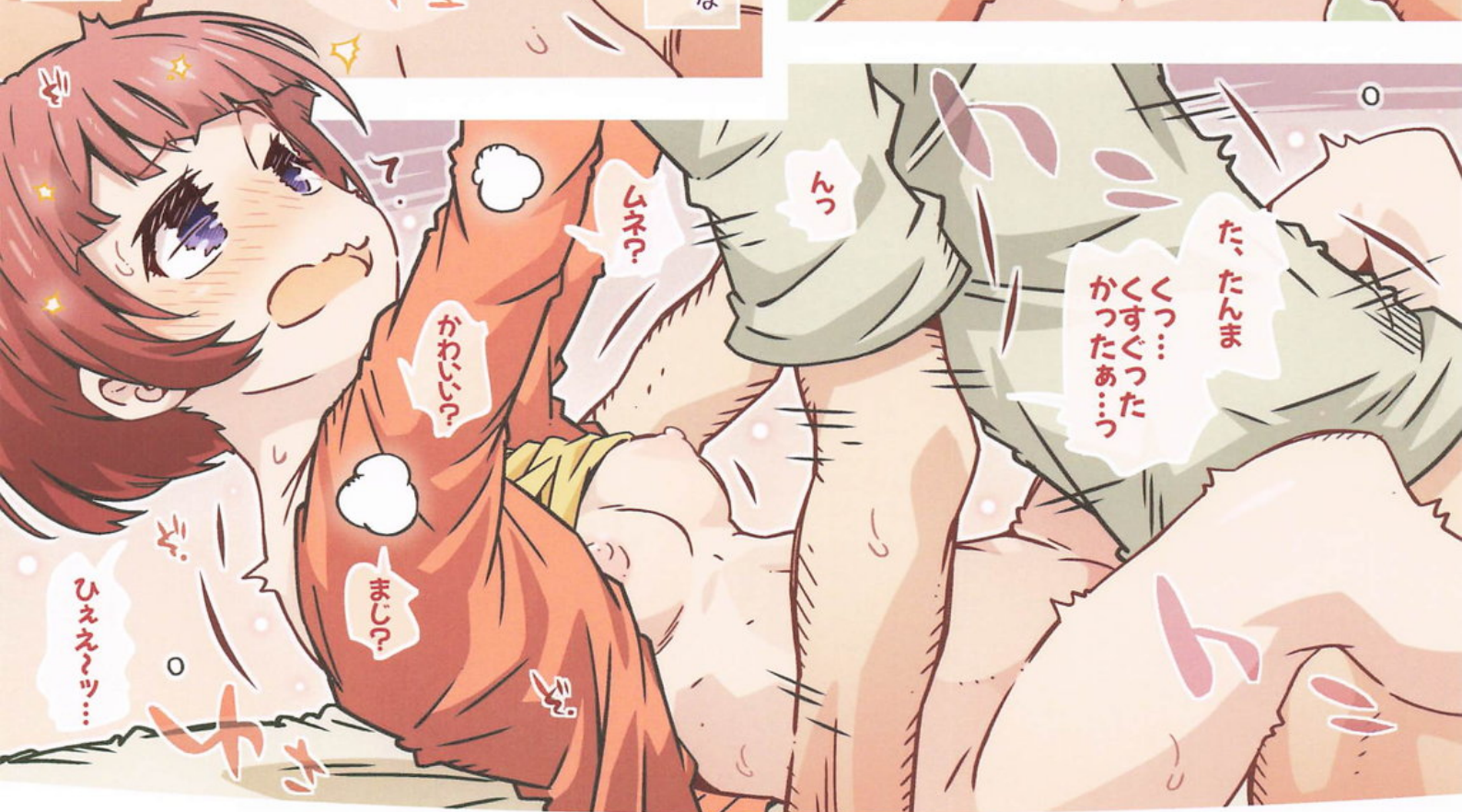
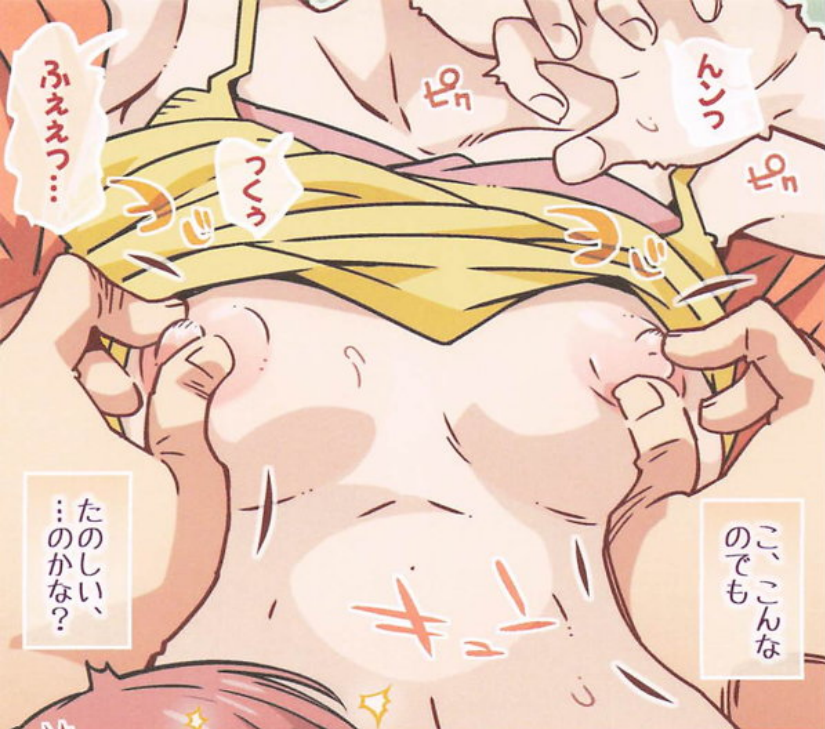
ほ、ほら...っ
いきなり奥まで
挿れないし

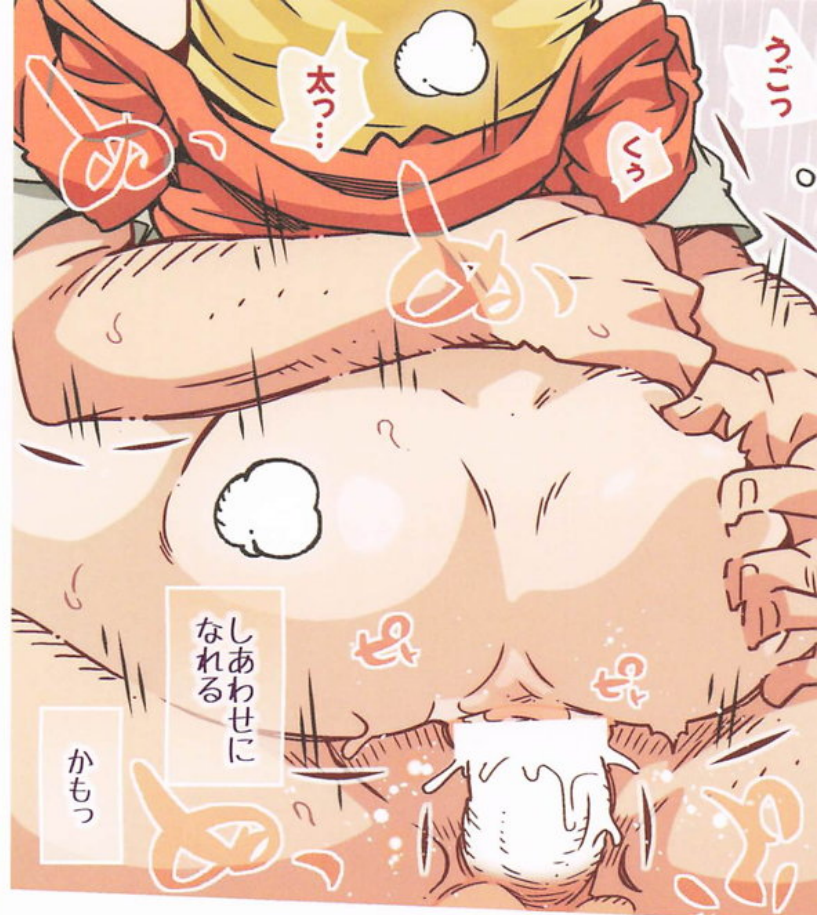
おとなっ
おとなだあつ

そんなに
だんだん
キモチよく
なってくるっ

わかる...っ

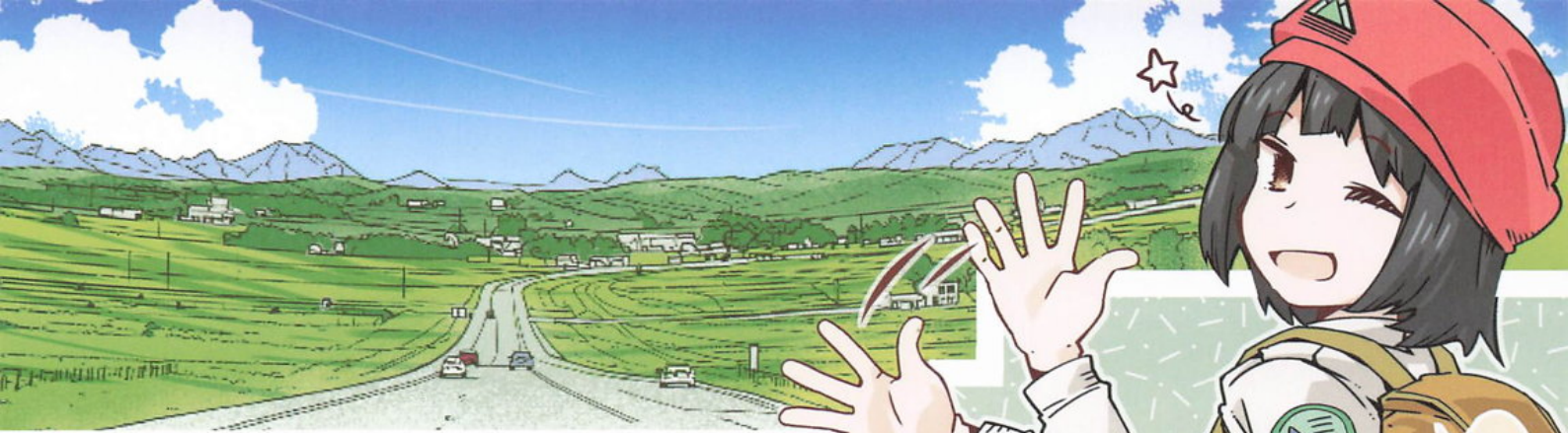
んあっあつ











じゃあ
最終日にねー

おかえに
来てねー



ふおおっ
びゅうていふる
まうんていん♡



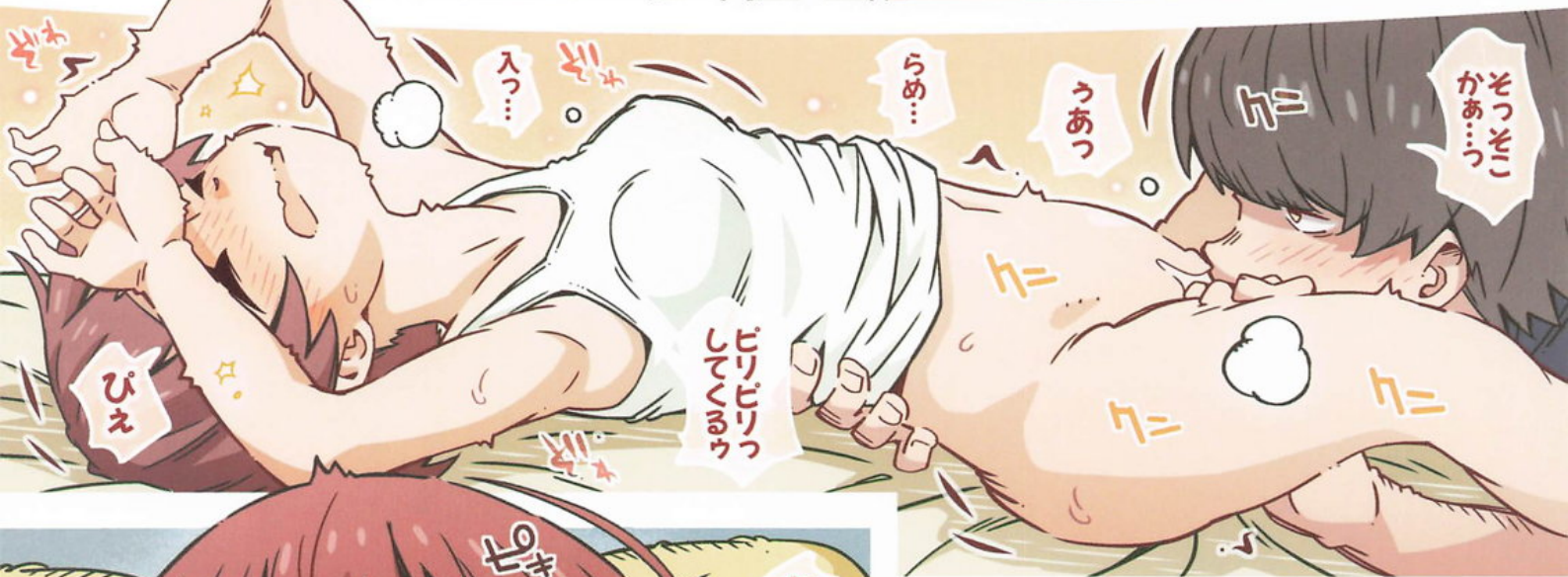
「山は逃げることも、
隠れることもない。」

ただ、そこにある。」
A・ワッピン

話していなかった
ことで不信に
思われてたと思うー

でも機嫌は
なおったかな

誘ってよかった
うん





んっ...

きっ

どっち
なんだいっ

なんなの
遊びなの
本気なの



ふうう

んっ

んんんっ

体重かけてこない
や、やさしく
あつかわれてる



ふうう

んっ

あ、くるっ
わかるっ

んんんっ



ふは

は

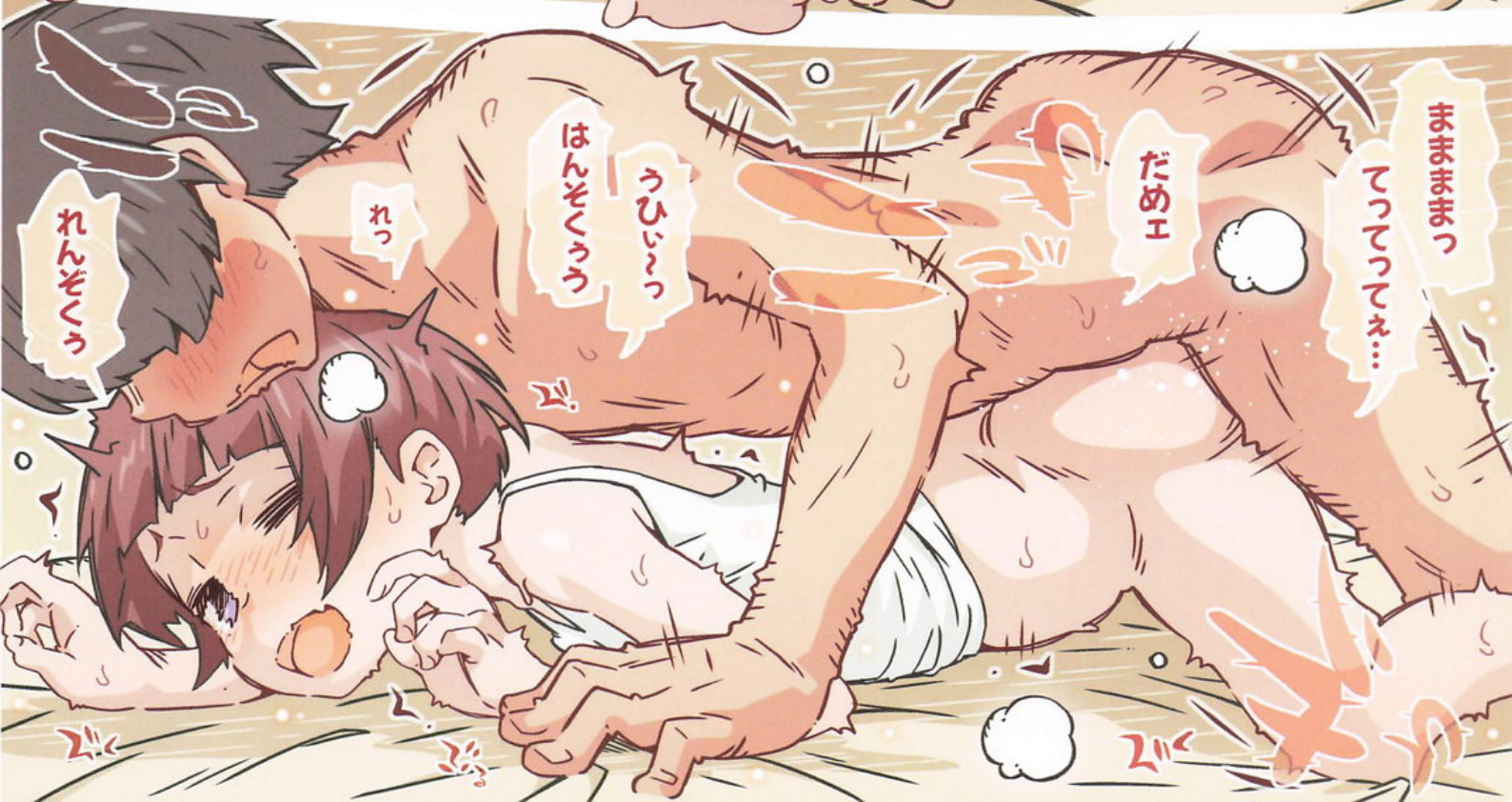
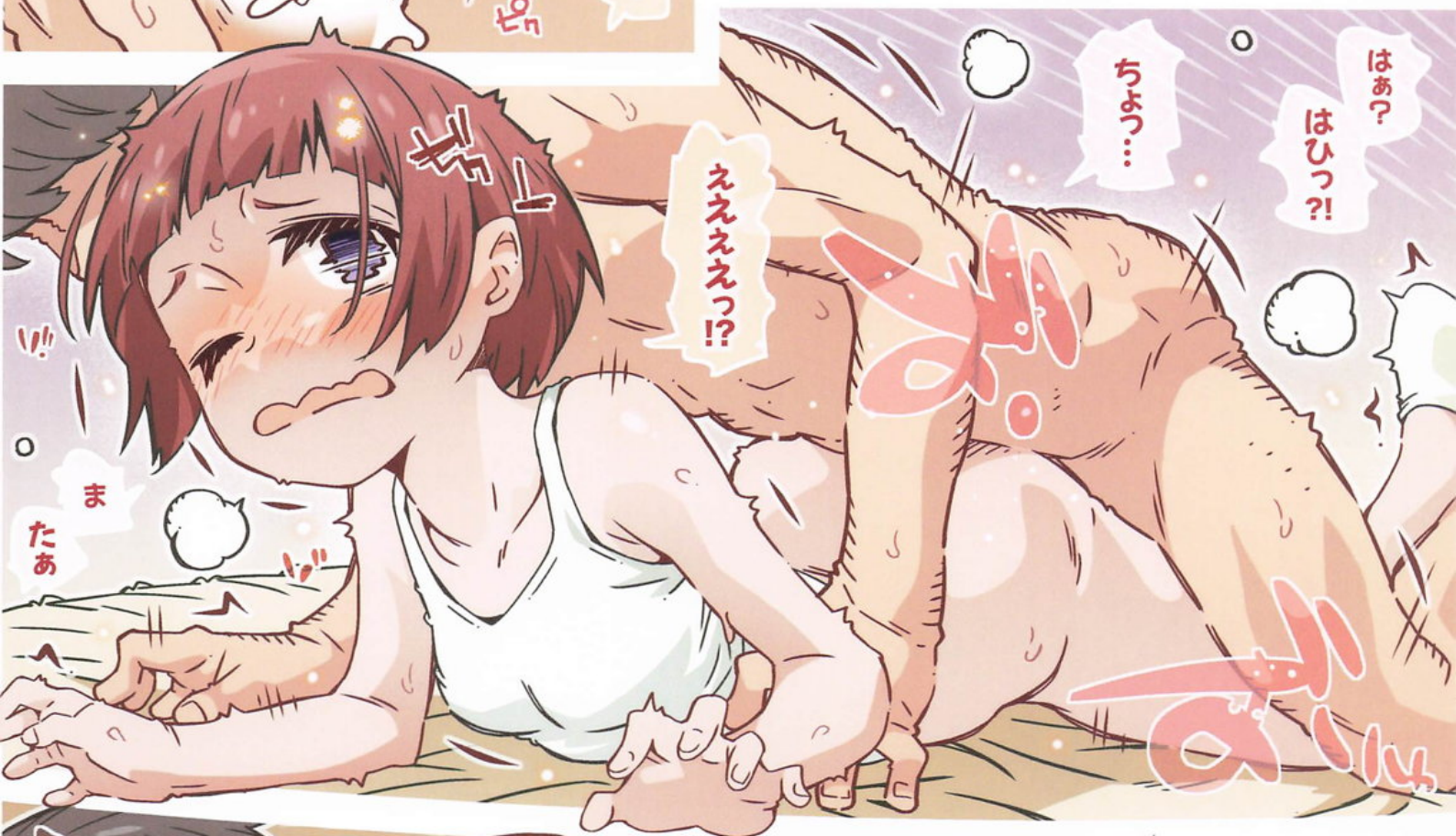
ゴムつけて
てもわかるっ

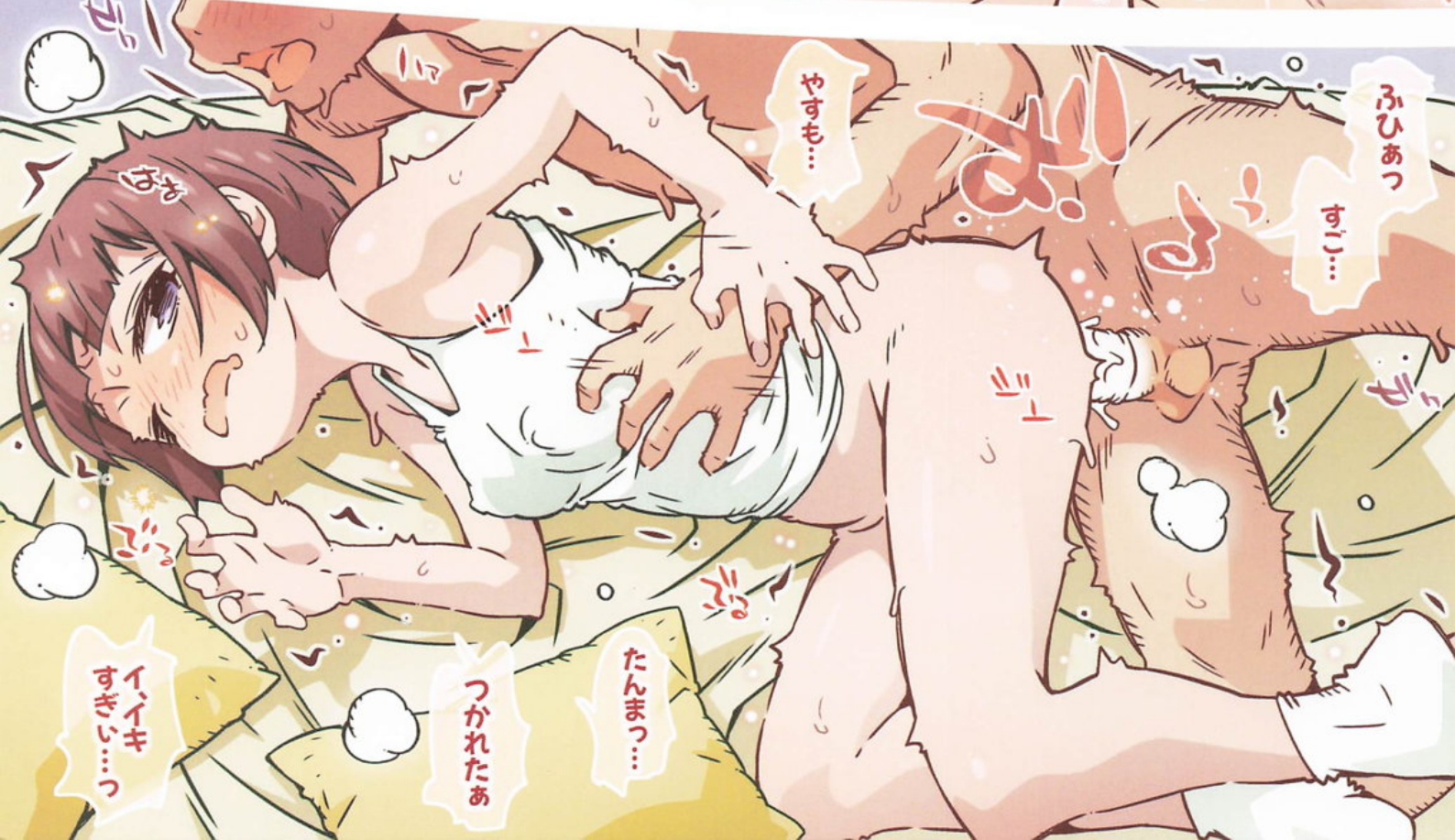
なんかいいも
だしてるうっ

ひえっ...

おっ
うおっ

おおっおっ
おおおっ...







なんななんなでえ!?

おいっ

ねえ

や

ちゅ

ちゅ

れん

ぞく

キ

キ

あっ

ふあ

ズ

んっ

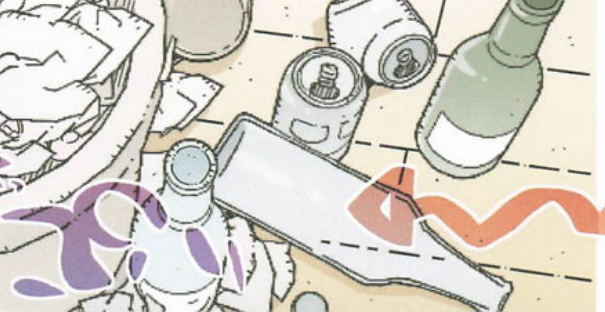
いっ

イク

イク

かあ?

らあ?





どんつつつだけ
わたしのこと
好きなんだよっ!?!



あッ
あッ
あッ



ちょまつ...



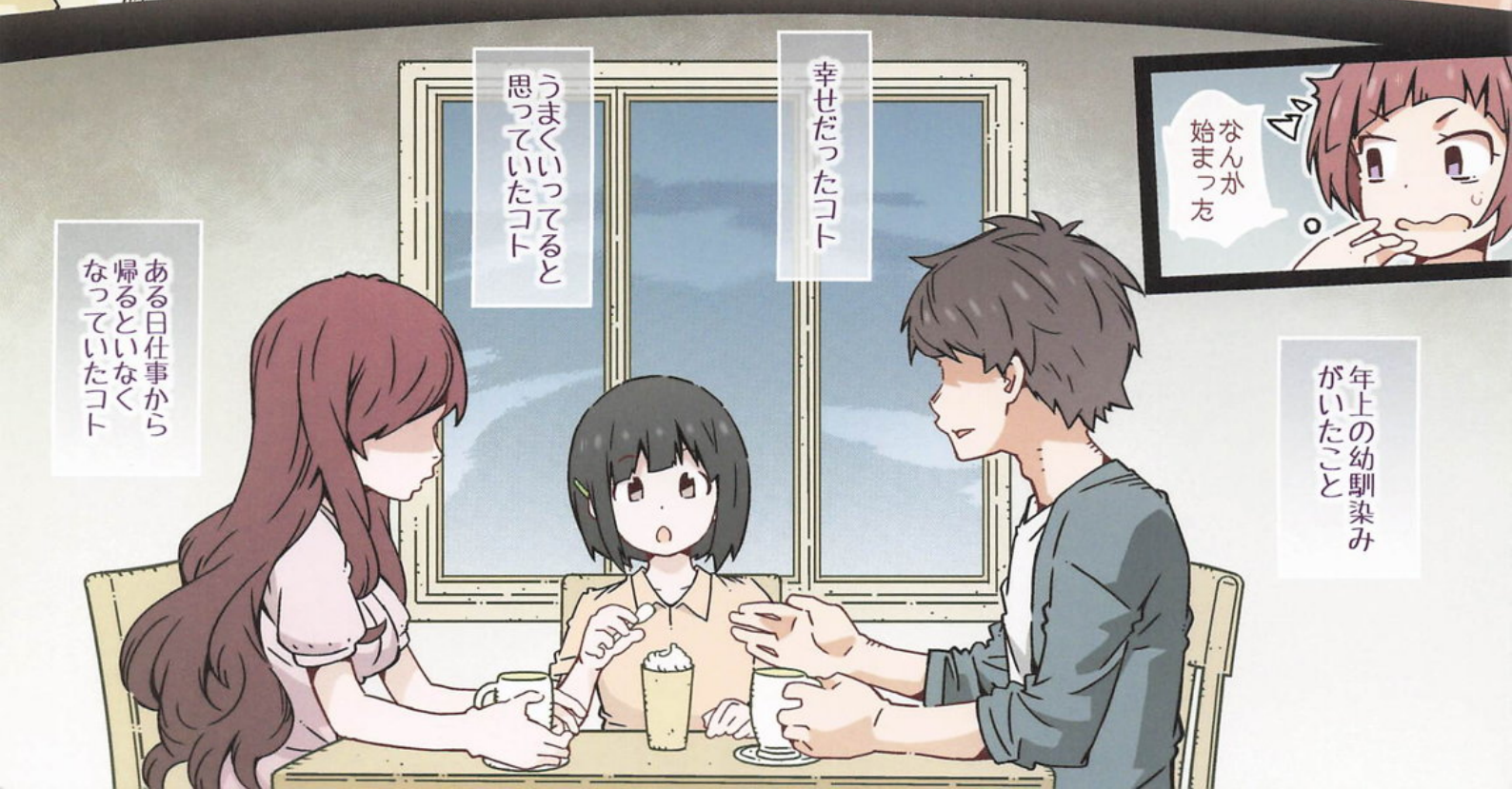
せせせしかつて
疑ってたんだけど!?

なんなの
この回数!?
こわいよ
どんだけ好き
なのっ!?
私のことっ

いい頃合い
かも知れない



伝わったか



幸せだったコト

うまくいってると
思っていたコト

なんか
始まつた

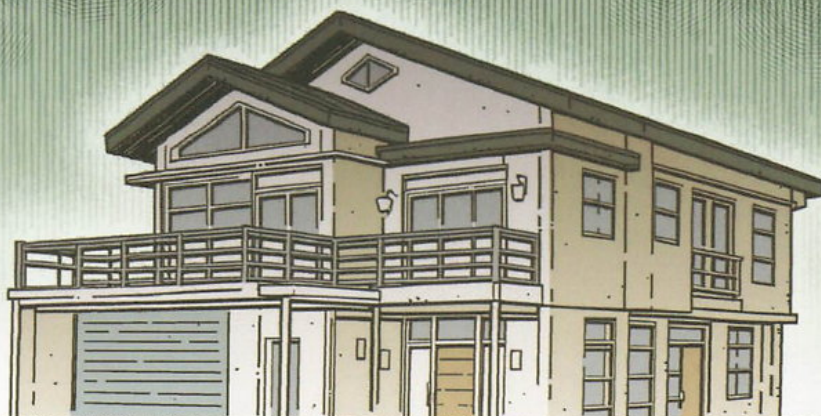
年上の幼馴染み
がいたこと

ある日仕事から
帰るといなくな
っていったコト

何がけなかったか
知ることでもできず

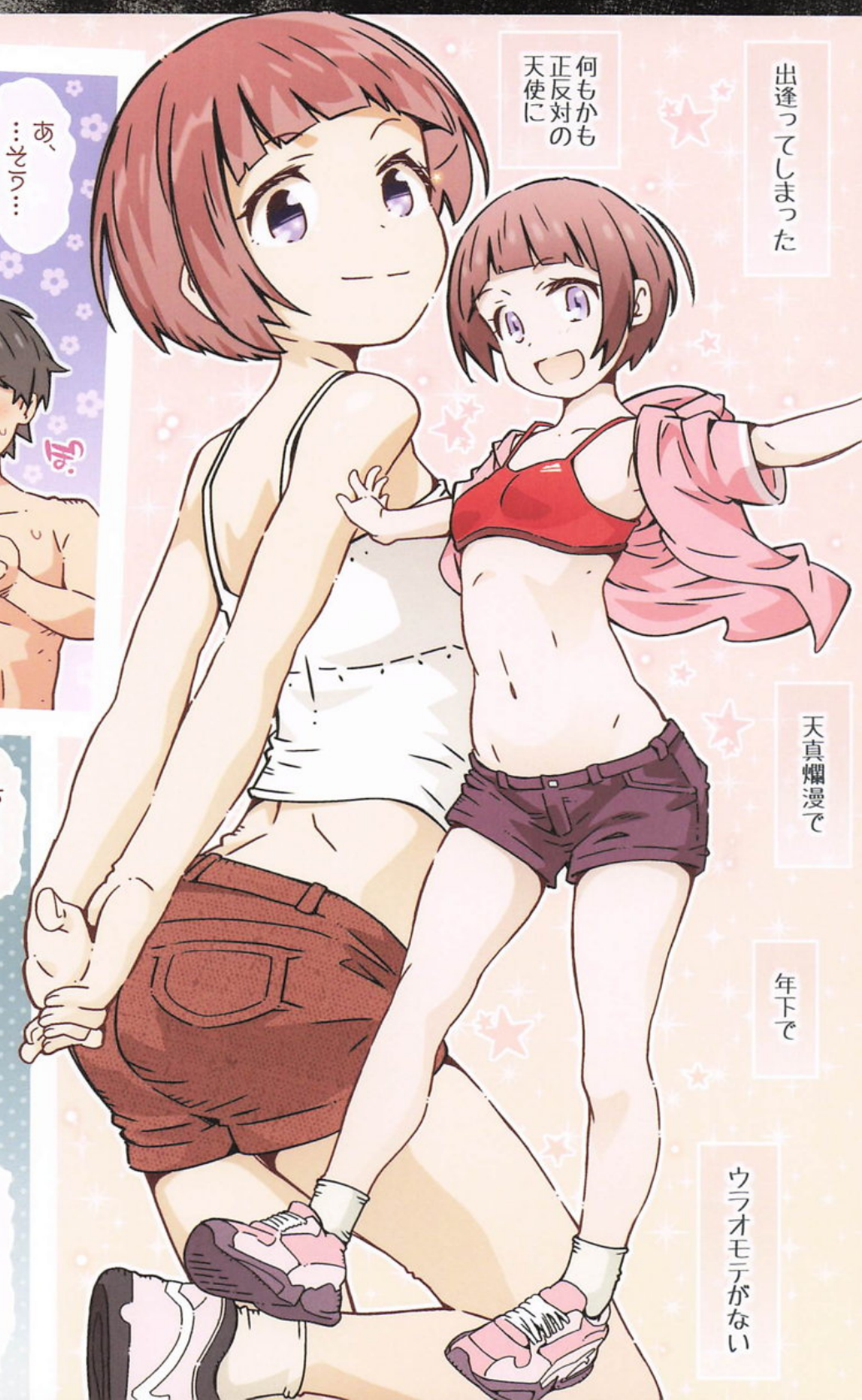
人が怖くなって
いったこと

そして



出逢ってしまった

何かかも
正反對の
天使に



天真爛漫で

年下で

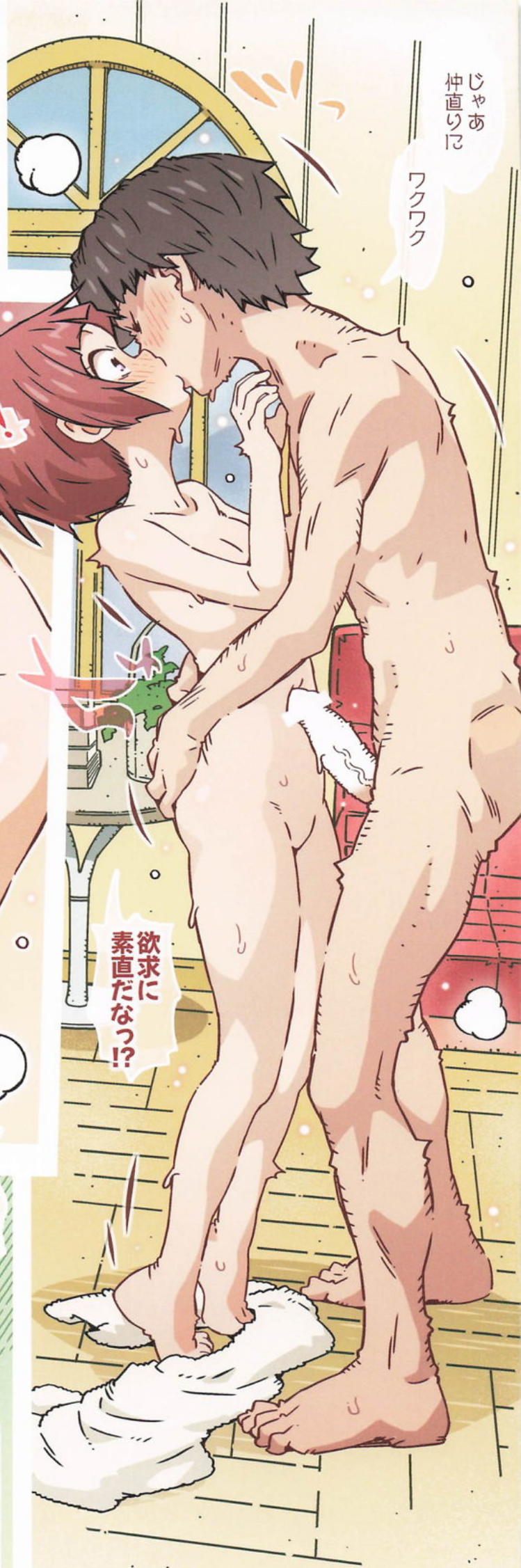
ウラオモテがない

あ、
...そう...
そういう
理由があ

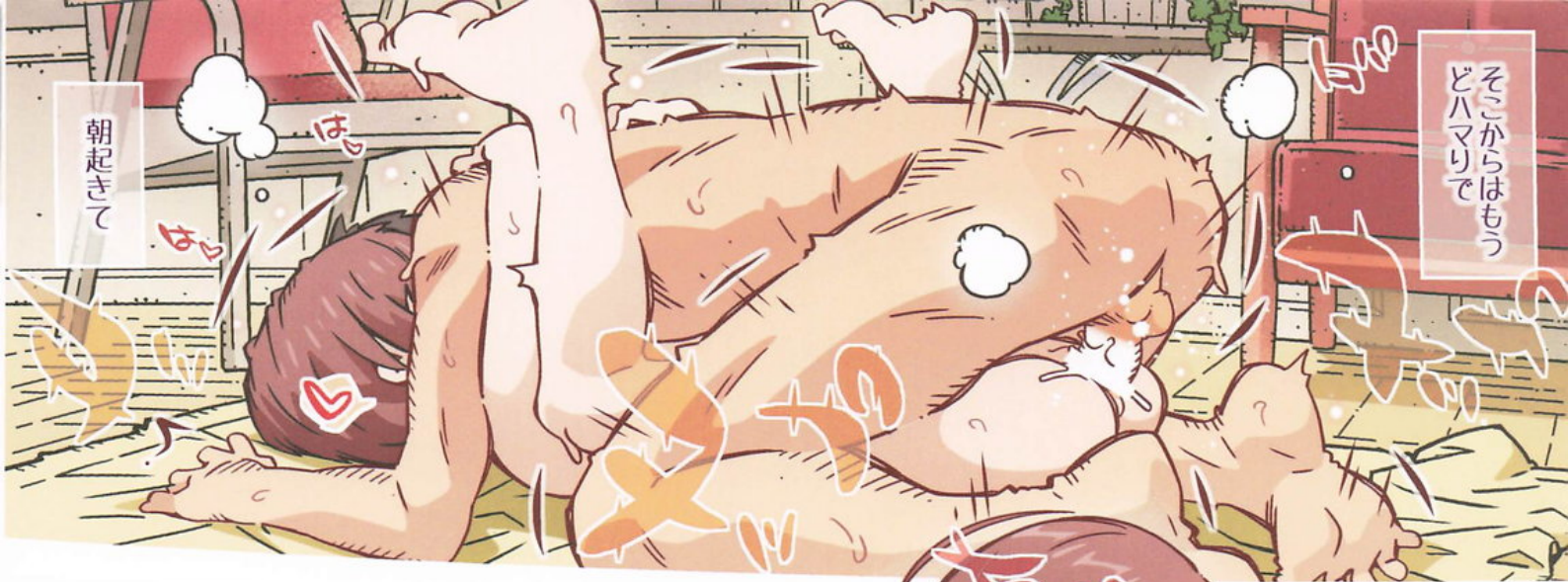


うっ
あ~~~~

...言おうよ
さいしょにさあ

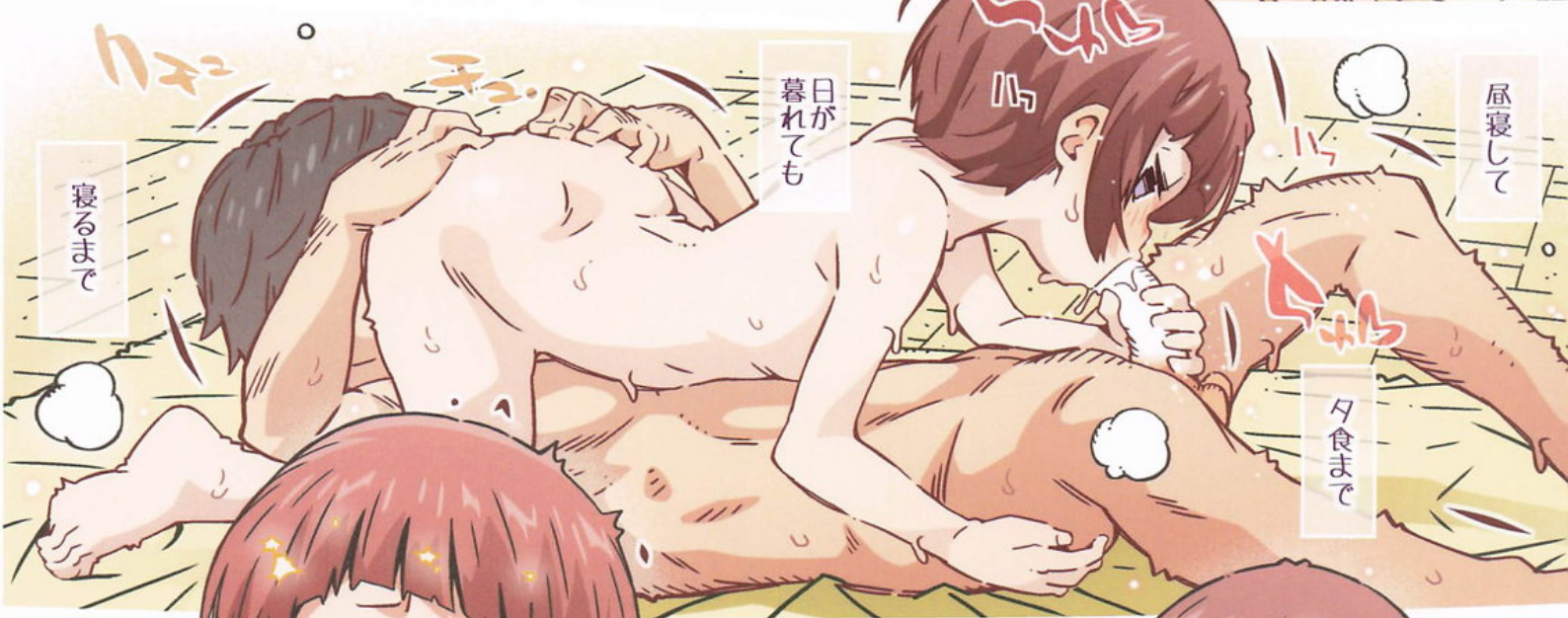






そこからはもう
どハマリで

朝起きて



昼寝して

日が
暮れても

寝るまで

夕食まで



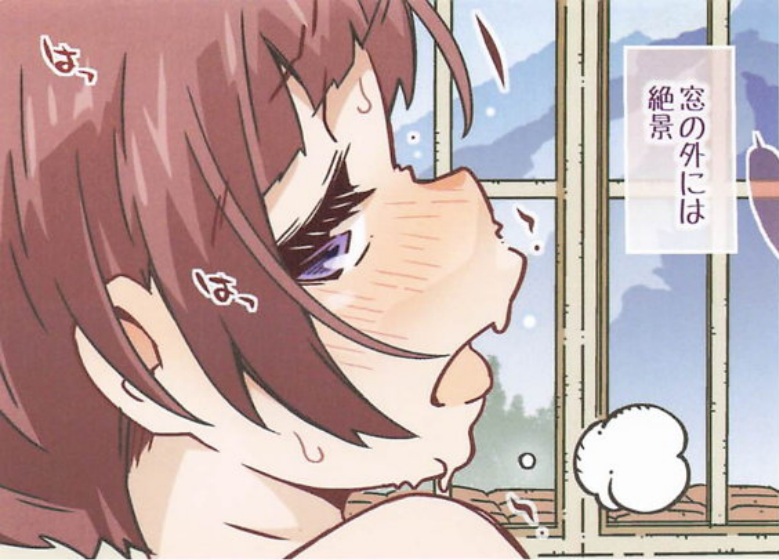
や...山より
気持ちいい

かもオ?



なんか
したのが

わからない
山行が
きつづき



窓の外には
絶景



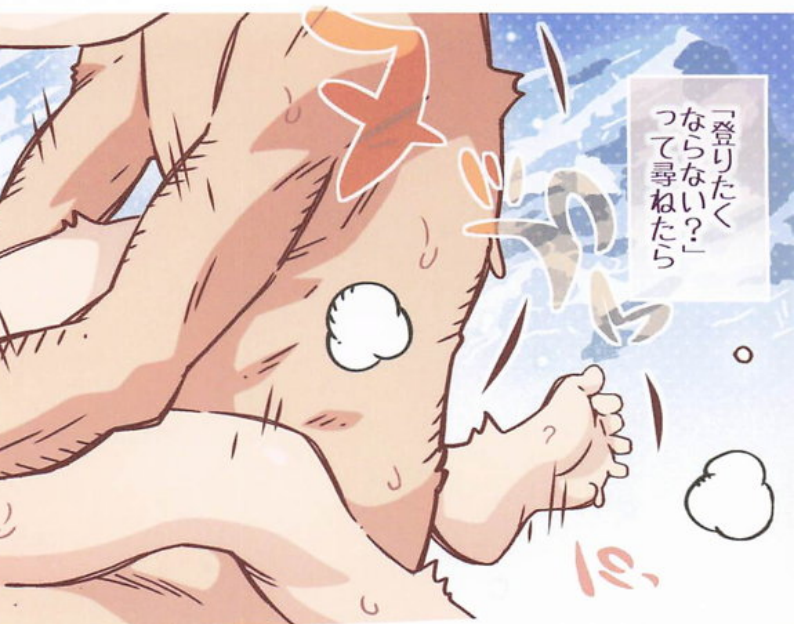
そんな毎日



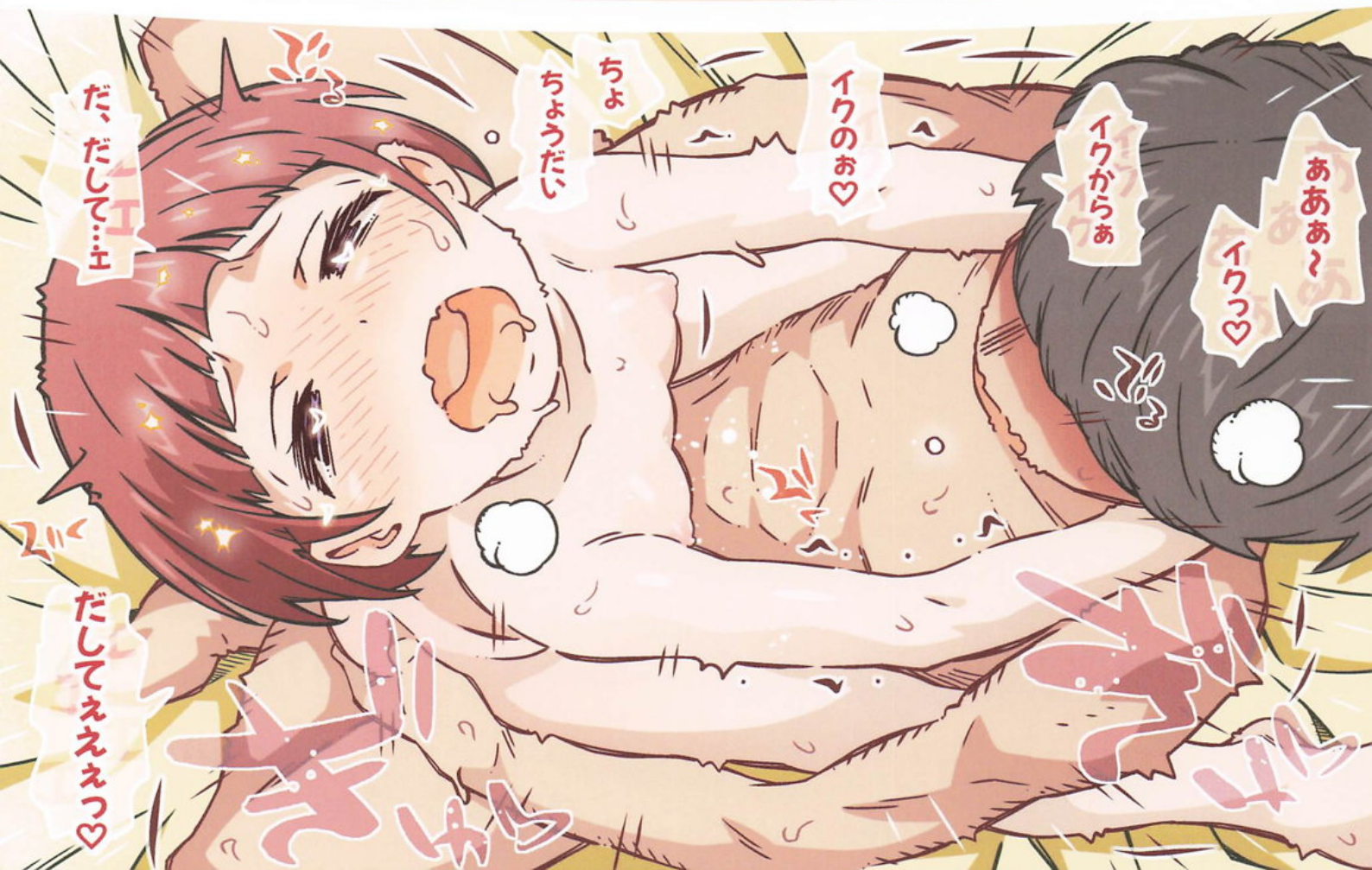
「こっちのほうが
楽しい！」

キモチいいっ！」

だって



「登りたく
ならない？」
つて尋ねたら



だ、だして…エ

ちょ
ちゅーだい

ちょ

イワのお♡

イワからあ

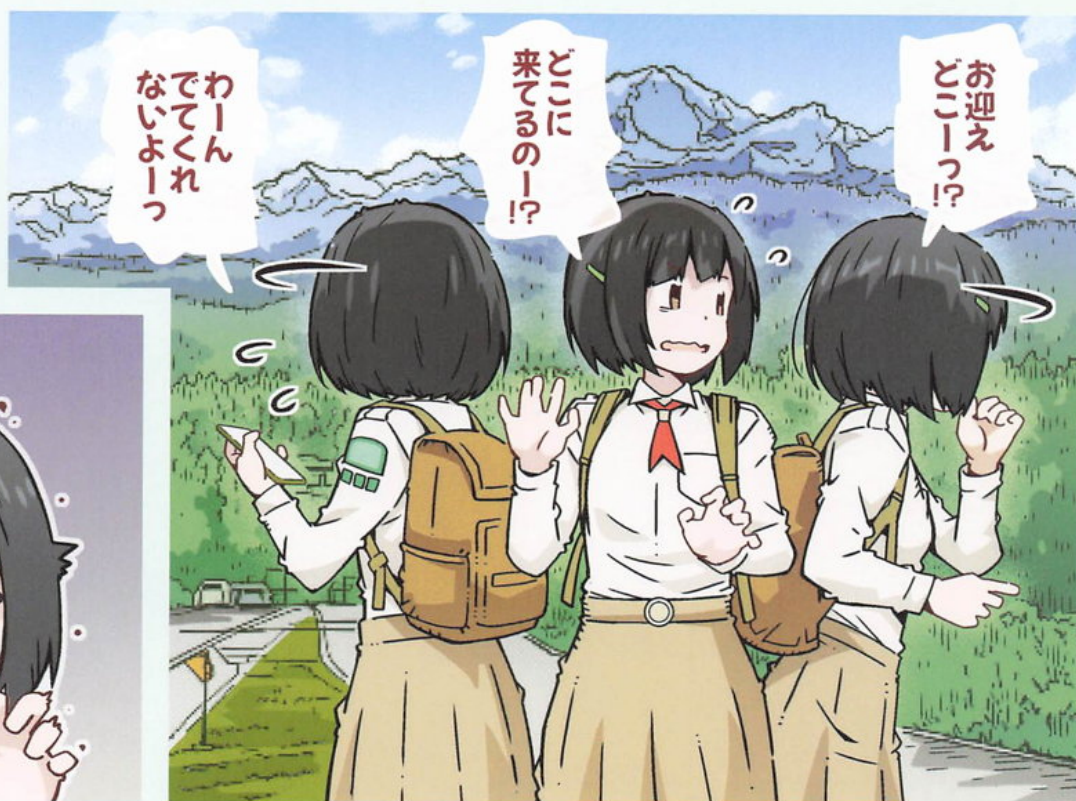
あぁあ？
イワっ♡

だしてえええっ♡





そのあと
めっちゃめっちゃ
怒られた



■
山登りより楽しいことを見つけた小春部長のお話。

■
小春部長は小さな身体に折り目正しい制服が似合って可愛さあふれていますが卒業後のお話なので着せられず。
魅力の何割か足りてない気がするが。

■
四期 10 話の ED エピソードが素敵で小春部長のキャラがよく表れている気がします。
台詞もない短時間のイラスト、なのに一話分にも思えるほど情景と想像が広がるストーリーでひきこまれました。
そしてあのときのセパレート水着が印象的すぎて今回の私服もおへそ出すスタイルが多くなってたり。

部長ひとりでも小動物的美少女ですが誰かと絡んでいるときに特に輝きますね。
誰にでも人見知りなく接触するところと表情豊かなところがとても描きやすいのです。
うざくなんてないもん。

■
百万通りある小春部長の未来予想図のなかで一回くらいはあるかも知れない、程度に遊んで貰えれば。
相手を先生と呼んでいるのは学校の先生だからという話ですが説明入れる余地がなかったのです。
娘は発育良いですが小学生くらい。

■
色塗り作業で少し早くなる方法を見つけたので嬉しいなと。
小さな積み重ね、大事。

■
アニメは綺麗に完結しましたが原作は止まることなく続いているのはなんてしあわせ。
リアルタイムで作品が更新されていくのはあの世界が生きている感じがあって嬉しいものです。

：遠海はるか

こはるぴより

発行日：2025.04

制作：OPEN BOOK / RPGcompany2

印刷：株式会社プロス

<http://openbook.in.coocan.jp/>

<http://rpgcompany.blog2.fc2.com/>

- 原作者 しろ様、『ヤマノススメ』ファンの皆様びめんなさい -

